

ツツジ ほかのなまえ…アザレア 39

ぶんるい…ツツジか

なまえのゆらい…むかしのなまえは、
ひつじツツジで、ひつじがこれをたべて、
あしぶみをして、しんでしまった
ことからつけられたなまえ

とくちょう…はながピンクいろがとく
ちょう がっこうにもつかわれること
がある たねによってどくがあるもの
もあるからちゅういしたほうがいい



| ツツジ | | 和名 | 躑躅 | | 39 |
|--------|---|------|---|------|----|
| | | 別名 | | | |
| 分類 | 科(APG分類) | ツツジ科 | 属 | ツツジ属 | |
| | 科(旧分類) | | 属 | | |
| | 科(旧分類) | | 属 | | |
| 名前の由来 | <ul style="list-style-type: none"> ・ツツジの語源は「ツツキサキギ(続き咲き木)」や「ツヅリシゲルキ(綴り茂る木)」などの意味。 ・漢字の「躑躅」は「てきちよく」と読む。これは「行っては止まる」の意味で、見る人の足を引き留めるほど美しいという意味。 | |  | | |
| 樹木の特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・主にアジアに広く分布し、ネパールでは国花になっている。常緑低木～半常緑低木。 ・日本に自生している野生種からたくさんの園芸品種が作り出され、庭木としてよく用いられている。それほど大きくなりすぎない、扱いやすい、強健な性質、花が美しいと優れたところの多い花木ですが、一方で病害虫が多いのが玉にキズ。古くから改良されてきたのでたくさんの品種が存在し、花の色、大きさ、形はまちまち。性質も微妙に異なり植栽場所の条件で選択できる。 ・4月の春先から6月の初夏にかけて漏斗型の特徴的な形の花(先端が5裂している)を数個枝先につける。合弁花類に属する。花弁には斑点模様が多くみられる。これは蜜標(ガイドマーク)で蜜を求める昆虫に蜜のありかを示している。蜜標によって花に潜り込む昆虫による受粉ができるように雄しべがついており、雌しべの柱頭は蜜標のある方向に曲がっておりスムーズに受粉できる。 | |   | | |
| 用途・その他 |  | |  | | |
| | 6月の阿蘇くじゅうに咲くミヤマキリシマ | | ドウダンツツジ | | |